

○東海大学説明会の様子と生徒の感想



☆説明会を聴講した生徒から東海大学の方へのお礼と感想

3年 K.Rさん

今回は僕たちのために講演会を開いてくださりありがとうございました。

今回の講演で、経営学部や建築都市学部のように理系、文系のどちらもが入れる学部があると伺い、自分がやりたいことは一つの学部にしかならないと思わない方がいいなと思いました。他の学部でも自分のやりたいことができるかもしれないので大学、学部、学科選びは慎重によく調べたいと思います。就職率が高く離職率が低いと伺い、将来の仕事を見据えて2年生から実際に会社に行き会社の体験を行なっていてサポートがとても手厚いのだなと思いました。また、研究にも力を入れていると伺い、充実した環境になっているのだなと思いました。さらに、生徒数が全国の大学内でも多いのに、教員1人あたりの学生数が21人で僕たちのクラスより人数が少ないことに驚きました。学生数が多く敷地が広いので、自分の価値観に合う学びや自分と価値観の違う仲間が見つかるのだと思います。就職する前にいろいろな人と出会えたり、社会に出るための経験ができたりすることで、非常に充実した大学生活を送ることができるのではないかと思います。総合型選抜などの要項が6月くらいに出されることや、これからのオープンキャンパスのことについて教えていただいたことで、こまめに大学のHPをチェックして早めの準備をしようと思いました。今回は貴重なお話をしてくださりありがとうございました。

3年 T.Rさん

講演していただきありがとうございました。

学部学科改編で、なくなった学科の授業がどこへ行ったのか、なくなった学科に対応する研究室がどうなるのかが「パッケージシステム」という形で解決されていることが分かりました。授業を好きなように構築できるので、意欲的に勉強に励むことができると思いました。僕は光・画像工学科を志望していたので、学部学科構想案が出たときは、正直焦っていました。

東京キャンパスの学科が1、2年時に、湘南キャンパスに来ることになっているという疑問はすぐ解決できました。価値観に合う学び、価値観の違う仲間と接するためだということです。また、コロナ禍なのでできるだけ首都圏を避けるといった意図が汲み取れます。約21人の学生に1人の先生がつくのはとても頼もしいです。先生と距離が近いのは、シャイな僕にとって明らかに好条件です。2年からインターンをすることができるのは、就職を考えている人にとって経験になり、有利になると思いました。研究の補助金がたくさん出るのも、理系の自分は特に魅力を感じています。5月20日の対面型説明会を楽しみに、様々なことを調べたいと思います。



3年 N.Mさん

今日は私たちのために説明をしてくださりありがとうございました。

新学部設置、就職、入試についてたくさんのことを学ぶことが出来ました。特に就職について興味があり、私は大学を決めるときに自分が大学でやりたいことを優先して考えていましたが、その先の就職にも焦点を当てて決めていかなければいけないのだと思いました。東海大学はスポーツがとても強い印象があり、私が就きたい職業と繋がっている大学です。陸上競技部に入り、保健体育の教師を目指したいと考えています。中高教員資格取得実績が8位というところが目に止まりました。1年次からコンサルティングを取り入れ、キャリアについて考えられる環境にとっても魅力を感じます。また、2~3年次にはインターシップといった職業体験が出来て、就職に力を入れていることを知ることができて良かったです。将来何になりたいということを明確にすることで、今何をすべきなのか、なりたい職業に必要なことは何なのか、改めて考えさせられる説明会でした。印象に残った言葉が、『自分の価値観が合う学びが見つかる。自分と価値観が違う仲間が見つかる。』です。高校では同じ教科をみんなで取り組んでいて切磋琢磨していますが、大学は同じ目的や夢に向かって頑張る人が行くところだと思います。そのため、同じところを目指せる仲間を見つけることで、自分も頑張らなければいけないという競争心が生まれると思います。切磋琢磨することで向上心を高め、就職へと繋がれたらいいなと考えました。また、東海大学は1学年7000人という総合大学でありながら、教員1人あたり21人の学生で授業をされていると伺い、教員と学生との距離が近く分からないところをすぐに聞くことができる環境に感動しました。

最後に、東海大学は就職まで手厚く指導してくださると知り、改めて1番行きたい大学になりました。高校では叶わなかったことを大学での挑戦という意味で、もう1度ゆっくり考えようと思います。今日は説明会をしてくださりありがとうございました。